

(52)

氏名(生年月日)	奈 良 成 子 ナ ラ ヲ
本 籍	
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙第313号
学位授与の日付	昭和53年2月17日
学位授与の要件	学位規則第5条第2項該当(博士の学位論文提出者)
学位論文題目	慢性肝疾患における血清 α -Fetoprotein の臨床的意義に関する研究
論文審査委員	(主査) 教授 滝沢 敬夫 (副査) 教授 遠藤 光夫, 教授 今井 三喜

論 文 内 容 の 要 旨

研究目的

血清 α -Fetoprotein (以下 AFP と略称する) は原発性肝細胞癌 (以下肝癌と略称する) に有用な検査法である。しかし AFP の検査法の進歩により、正常および慢性良性肝疾患においても異常値を示すことが知られている。本論文は正常値を測定し、慢性良性肝疾患における AFP の臨床的意義を解明し、また肝癌の早期診断に関し、経時的 AFP 測定の意味について検討した。

対象および方法

健常成人98例。腹腔鏡、肝生検等により確診された慢性肝炎72例 (非活動型9例、活動型63例)、肝硬変65例、および肝硬変の経過中に肝癌の併発が認められた12例を含む肝癌62例である。これらの対象例に AFP を3カ月以上の期間、3回以上経時的に追跡した。

AFP は Dainabot 社の kit を用い、Radioimmunoassay 法で測定した。また HBsAg (IAHA 法) および諸種肝機能検査との関係についても検討した。

成績

1) 正常値は 20ng/ml 以下であり、性・年齢差は明らかでない。

2) AFP の経時的推移を I 群: 持続的に6カ月以上異常値を示すもの、II 群: 間歇的に異常値を示すもの、III 群: 一過性に異常値を示すもの、および IV 群: 正常域で推移するもの、の4群に分けて観察した。

まず慢性肝炎活動型において、経過中 AFP 異常値を

示した例は、I 群17.5、II 群11.1、III 群23.8、計52.4% であり、前2群で HBsAg 陽性例の頻度が63.6、59.1% と高率を示した。また AFP 異常例のうち GPT との変動が時期的に平行を示した例は72.7% に認められ、ピークは GPT が平均2週間先行した。壊死再生期と AFP 上昇との関連が推測された。また組織学的に前硬変例に AFP 異常値の持続を示すものがみられ、肝硬変への移行が示唆された。

3) 肝硬変においては、経過中 AFP 異常値を示した例は、I 群24.6、II 群14.8、III 群7.8、計46.2% に認められ、慢性肝炎と上昇パターンの頻度に若干差異がみられた。GPT 変動との関連は 23.3% に認められたが、むしろくり返えられる再生による AFP 異常値の持続が特徴的とみなされる。

4) 肝硬変の肝癌併発時に、AFP の推移は漸増傾向ないし急上昇を示す症例が経験され、肝癌の早期診断に AFP の重要性が示唆された。慢性良性肝疾患例において AFP 100ng/ml 以上を示した時点から3カ月後の AFP が前値の3倍以上を示す場合は、肝癌の併発が強く疑われ、臨床的にルーチン検査として意義深いものと考えられた。

結語

慢性良性肝疾患において、経時的な AFP の観察は、病期の進展を推測するに有用であり、特に肝癌併発の早期診断に有意義な検査法とみなされる。

論文審査の要旨

本論文は良性肝疾患，とくに肝硬変における経時的な AFP (α -fetoprotein) 測定が原発性肝癌の早期診断にもつとも重転であること，とくに3カ月後の AFP 値が前値に比べて3倍に上昇することは原発性肝癌の診断に重要な指標となることを証明したもので，学術上きわめて価値あるものと認める。

主論文公表誌

慢性肝疾患における血清 α -Fetoprotein の臨床的意義に関する研究。

東京女子医科大学雑誌 第47巻 第12号 1362
～1371頁 (昭和52年12月25日)

副論文公表誌

- 1) 慢性肝疾患におけるヘパトーマ発生について，第一報 肝硬変59例の Prospective study.
肝臓 17 (5) 9～21 (昭51)
- 2) 東南アジアにおける特殊病原の検索—インドネシ

アにおけるB型肝炎ウイルスの疫学および病原的意義—

- 熱帯 10 (1) 1～11 (昭51)
- 3) 軽度肝機能異常症例をどう推理するか.
日本臨床 32 (12) 93～99 (昭49)
 - 4) 内科側からみた消化性潰瘍治療の現況と問題点.
臨床と研究 50 (8) 69～76 (昭48)
 - 5) Addison-Biermer 悪性貧血と早期胃癌合併の1症例.
胃と腸 8 (3) 101～105 (昭48)